

## 「つなみのひ」道徳学習指導案(低学年用)

1. 主題名 たすけあって 4－(2)
2. ねらい 助け合って仕事をするよさを感じて、みんなのために働こうとする心情を養う。
3. 資料 つなみのひ (紙芝居)

### 4. 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値について

仕事に対して、誇りや喜びを感じながら、みんなのために働こうとする心を持った児童を育てる内容項目である。

この時期では、働くことに楽しさや喜びを感じる児童も多い。働くことの大切さを感じ取らせ、助け合って、みんなのために働こうとする心を持たせることが大切である。

#### (2) 児童の実態(略)

#### (3) 資料について

コタローとポンタの二人は仲のよい友達であった。

ある日、いつものように二人で仲よく海で釣りをしていると、大きな地震があり、やがて津波がきて、二人は離ればなれになってしまう。漁師のおじさんに助けられたコタローは、避難所の小学校に行く。そこでお母さんに会うが、お父さんも行方不明ということである。

避難所は、ぎすぎすした雰囲気であった。しかし笛名人のピッコロの笛のおかげで、元気を取り戻した村人たちは、自分たちにできる仕事をみんなのために始めるのである。

そしてカモメの捜索隊からの連絡で、行方不明の人々が大勢、沖合の島に流れ着いている事を知った村の人たちは、迎えに行くために筏を作る。みんなで協力したおかげで完成した大きな筏で、お父さんも、ポンタも無事に戻ってくる。

再び二人は、仲よく遊ぶのである。

この資料を使って、みんなで、みんなのために協力して働いたことで、海に流された人たちを無事に助けられたということを感じ取らせたい。

### 5. 資料活用の工夫

「助け合い」、「協力」を主題として学習し、ねらいへの迫りたいところだが、低学年の内容項目にはそれがないので、「人のために働く」という内容で進める。

自分が一番心に残ったところと、それはなぜか、ということをお話合わせる事で、働くことに意義を感じ取らせたい

## 6. 展開

	主な発問と予想される児童の反応	指導上の留意点・評価(☆)
導入	<p>1. 誰かと助け合った経験を発表する。</p> <p>○誰かと助け合って仕事などをしたことはあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助け合って掃除をした。</li> <li>・みんなで協力して、運動会のダンスをした。</li> </ul>	
展開	<p>2. 資料「つなみのひ」を視聴して、話し合う。</p> <p>①紙芝居をみて、一番心に残ったところはどこか。</p> <p>ア、小学校で、それぞれの仕事をしているところ。</p> <p>イ、おにぎりのことで、言い争っているところ。</p> <p>ウ、おにぎりを多くとったおじさんも、子どもたちのために多くとったこと。</p> <p>エ、みんなで島まで助けに行くこと。</p> <p>オ、コタローとポンタが、楽しそうに話しているところ。</p> <p>②どうしてそこが心に残ったのかを話し合う。</p> <p>ア、みんなが、自分にできる仕事をしっかりしているから。</p> <p>イ、こんなときに、けんかするなんて大人げない。</p> <p>ウ、おにぎりを多くとったのかなと思ったけど、それは子どもたちのためだったから。</p> <p>エ、仲間を迎えに行くために協力しているから。</p> <p>オ、早く元の海に戻ってほしいという気持ちがよくわかるから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙芝居で資料を提示する。</li> <li>・自分が心に残ったところをしっかりとと言えるように、物語を少し振り返る。</li> <li>・なぜそこが心に響いたかを自分でいうとともに、友達との比較をする。</li> </ul>
	<p>3. 助け合うときの気持ちを発表する。</p> <p>○助け合うときってどんな気持ちだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手のことを思っている。</li> <li>・小さな子だと助けてあげたくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を思いやって助ける行為をすることに気づかせたい。</li> </ul>
終末	<p>4. 教師の話を聞く。</p> <p>○助け合った時の気持ちについて話す。</p>	